

団体交渉報告

4月28日、科労協共同団交のあと、本部にて、理事出席の団体交渉が行われました。3月20日に提出した2006年度春闘要求への回答に続き、統合処遇への移行問題、研究手当：研究員技術員制度、出向、高齢者の処遇、放射線業務手当問題、2つの組合への対等対応などが交渉されました。

以下に団体交渉の主なやり取り取りを示します。

機構： 回答書を渡し、読み上げる。ほぼ例年と同じ内容、前進無し。

[労組] 統合後の処遇の本格的統合について、本給表など何点かについては仮合意したがそれ以外については交渉が進んでいない。遅れた理由は、交渉の前提になるべきデータの提示が遅れたことが大きい。2法人の本給比較が示されたのは3月の下旬。労組の追及でようやく出した。あまりにも遅い。これでは交渉を円滑に進められない。最近、旧サイクル機構で処遇が遅らされている人の具体例を聞いた。実態を早く知っていれば、交渉の内容も変わった。よく考えて欲しい。

< 国家公務員の給与構造の見直しを安易にいれるな！ >

[労組] 国家公務員へ導入される給与構造の見直しについて、機構はこの4月には何も提案していないが、どう考えているのか？全体に4.8%減を考えているのか？

[機構] 重要な課題という認識は持っているが、現在検討中ということで、ご理解いただきたい。

[労組] 国の要請を断れないということはわかるが、いろいろ工夫しているところや茨城県などの例を見ながら検討して欲しい。機構は国とは違うのだから、職員間で不満が高まらないようにして欲しい。

[機構] 成案が出来次第、提案したい。今の段階では煮詰まっていない。提案するときは事前に出せるようにしたい。

< 国の機関へ出向したときの処遇はどうなる？ >

[労組] 先ほど、科労協共同団交で、退職出向/休職出向の話が出た。出向問題はあとで別に強要問題で話すが、それとは別に、出向の条件を勝手に従来と違うものにされては困る。まさか、勝手に変更を加えてはいないだろうな。

宇宙航空研究開発機構(JAXA)からの国への出向で問題視された件(注1) 原研時代には国の判断を待っているということだった。これまでように元の給与などを補償しなれば、不利なことが多いのは明らか。機構としてどうするか決めるなら、きちんと提案して、行く人とも合意することが大事だ。

注1：国へ出向したとき、給与が下がり、それをJAXAが現給補償していたことが、新聞報道で問題にされた。同様のことは、旧原研でも行なわれていたもの。

[機構] 基本的に取り扱いはほとんど変わらない。機構側の扱いは変わらず、国の扱いが変わるだけ。

[労組] 規制関係に行く例を聞いたが、処遇をあわせるということだった。国から見ればほかの法人から補填されるのはおかしいということで、補填はさせないとのこと。結果として処遇が下がることになるなら、話してもらわないとならない。処遇面は全く変わらないということか？

[機構] ほとんど変わらない。超過勤務、社会保険、雇用保険は言った先の制度にくみこまれる。しかし、工夫できるところは、不利にならないようにしたい。

[労組] 詳細は別の場で聞こう。(注2)

注2：その後、5月11日窓口交渉で、国への出向時の取扱について、交渉がありました。後日報告します。

< 研究員・技術員制度、旧研究手当受給者の未認定問題 >

[労組] 研究員・技術員制度、それから現在、旧研究手当受給者で認定されていない人が多くいることは当初の説明と違って、大きな問題である。このままでは、労働条件の一方的な変更にあたり、認められない。先の拡大窓口で、所属長を通して認定されるように指導すると言ったが、本当にきちんと指導するのか？期間を切って、認定されない場合にその理由を組合に説明する用意があるのか？

[機構] 担当のほうで精力的に指導している。職場の上司と話をしている。充分理解してやっている。

[労組] 指導できなかった場合、個々に理由を釈明できるのか？現状を踏まえて言っているのか？

[機構] 結果については、そこに至る過程が大切。所属長と話をしていきたい。

[労組] 2つの問題を区分して言っていることはわかるか？旧原研で技術職へ行った人の認定率が低すぎる。旧原研の研究手当受給・能力認定と新法人になってその基準が一方的に変えられたということになっては大問題ということ。それと、新制度について示されている「基準」なるものが、わからないということ。どうやら博士号を持っていればOKということだけがわかるが、そのほかの基準があるはずだから示さなければならぬ。推薦するものも、それを目指して働くものも、基準がわからないようではうまく行かない。

[機構] 基準がわかりにくいということを言われているので、分野ごとに具体化したものを作っていくと、申し上げた。しかし、以前夏ごろと言ったように、まだそれは出来上がらない。

[労組] 今、まさに推薦を求めているのでしょうか？それなのにその基準がまだ現場に渡っていない。それでは基準がわからない。順番が違うでしょう。一方で先の10月にすでに認定も行われていて、誰が認定したのかと聞いたら、「経営が」と答えた。理解しようがない。

職場に混乱をもたらしていることを理解して欲しい。「このようにがんばって欲しい」

と示して仕事をしてもらい、その後認定するのが順でしょう。馬鹿にならない金額の差がつくのだから、大きな不満もでる。

基準を作るときに現場の意見を聞いてほしい。現場のことを知らずに、人事の知識だけではわからない。

< 出向の同意問題 >

[労組] 先のあゆみ速報で報じたように、最近出向強要問題があった。旧原研時代は「出向は本人の合意を必要とする」という労使間の共通認識・合意があった。それは今も変わらないと考えているが、それでよいですね。

[石村理事] 本人の意向を確認するというをやっている。

[労組] では、断った場合、首にならないのは明らかだが、断ったことによって、人事評価など、不利益をこうむることはないかと確認できるか。

[石村理事] 不利益はない。

[労組] 今回の例は、同意を取ろうと、脅しを含め執拗に迫っている。

[機構] この件は、個別の件なので、別途窓口で話をしたい。

[労組] この場では、改めて、あゆみ速報に書いた4点、

強要・組合への介入の事実を認め、Aさんに謝罪すること

2度とこのようなことを行わないと約束すること

Aさんに対する不利益処遇を、将来にわたって一切行わないこと

M氏に対する適切な処分を行うこと

を要求しておく。

[石村理事] 一般論だが、所属長は、出向先の業務についてしっかり話すことは大切で、悪いことではないと考えている。

[労組] それはそうだ。しかし、この件では出向先の仕事についての話は全くされていない。その点も問題だ。

< 高齢者の処遇を真剣に考える >

[労組] 高齢者について、社会保険など、環境は悪くなるばかりなのをご存知か。その中で、嘱託雇用の処遇、もと6級で月21万7千円プラス年2.5月の一時金。これはあまりに少ない。もとの6割くらい出すのが普通ではないか。早急に改善を図れ。どうしても金がないというなら、週労働日数を減らすとかも含めて考える。現場にもいろいろ問題が出てくる。やる気がなくなる人が増えてくる。安い給料だから仕方がないということでは、職場の雰囲気もわるくなる。しっかり働いてもらうためにも、フルタイムにこだわらず考える。法定後、機構が他法人よりよいといえなくなっている。

[機構] お金がすべてではない。誇りを持って働いている。雇用の面では優れている。

[労組] 法で義務付けられてから、働いたことに見合った処遇をしているかという問題になってきた。これまでの実績に対してもあまりに失礼ではないか。

定年年度末一本化はどうか。

[機構] 組合との経緯もあり、十分検討していきたい。

< 放射線業務手当問題 >

[労組] 放射線業務手当問題について、あゆみ速報の投稿を読んだと思う。労組の考えは投稿の中身と基本的に同じ、労使間のやり取りがいろいろあって、妥協した部分もあるが、基本的な主張は変えていない。嚴重注意の取り消しと規程の見直しを行なうこと。原子炉等管理手当から発展したことなどからも、原子炉や加速器の運転者がもらえないのはおかしい。

[機構] 労組の協力には感謝している。処分はしかるべき機関の調査に基づいて行なったもの。規程の改定については人事部で検討中だ。

< 2 労組の均等対応 >

[労組] 2つの組合を対等に扱うことはすでに確認した。しかし、原子力ユニオンと原研労組では便宜供与の内容などだいぶ違う。原子力ユニオンとの間にどのような労働協約があるか、どのような便宜供与をしているのか全て示せと言っているが、一向に返事がない。こちらで、聞いている範囲では、組合事務所、掲示板、イントラネットなどだいぶ違う。一部人事情報の共有とかもあるらしい。世間や原研労に見せたくないものがあるなら、見せなくても良いから、そういうものは全て止めて、共通のものを示せ。

[機構] 対等対応は組合法上の要請がある。便宜供与は一定の条件を付与して与えているもの。個別に出してもらえば考える。

[労組] 機構として、こういう用意があるという共通提案をしてもらえばよい。機構になって、使用者がひとつになったが、原研労とユニオンで対応が違っている。使用者としての用意を聞き、その上で交渉して決める。

[機構] 今はその段階に無い。いずれ整理してお示ししたい。

[労組] 早急にやれ。

第412回中央委員会を開催します。

日時：5月17日(火) 18:30～

場所：原子力科学研究所、研究1棟1F第5会議室

主な議題：活動報告、次期役員選挙関連議題